

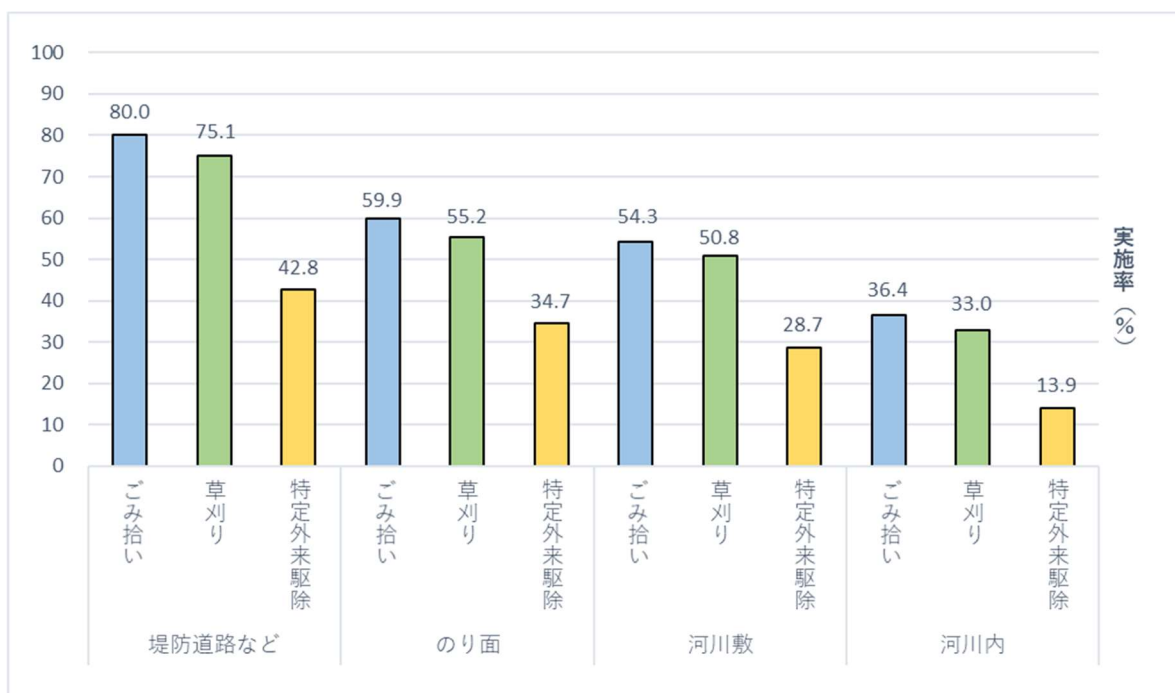
河川清掃に関するアンケート結果について

1 アンケートについて

- (1) 対象：河川をきれいにする会所属町会の町会長338名
- (2) 送付数：412通（複数の会に所属する町会あり）
- (3) 回答数：319通（回答率：77.4%）
- (4) 実施期間：令和5年11月～令和5年12月
- (5) アンケート内容 別紙参照

2 結果

- (1) 清掃場所、作業別の実施率

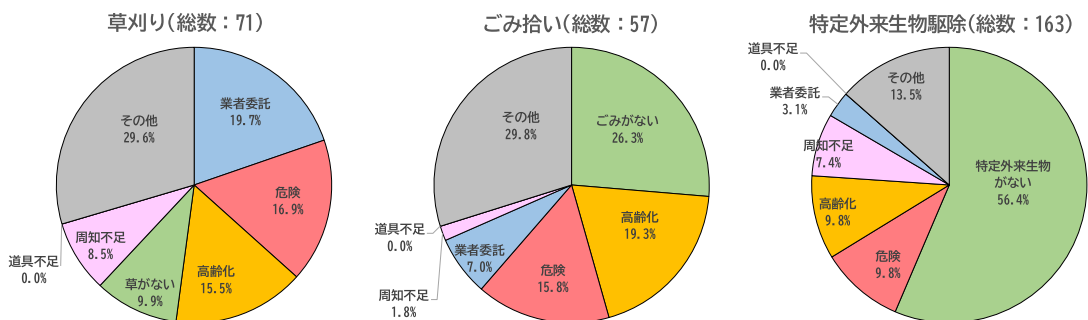


※該当のない項目は母数から除外

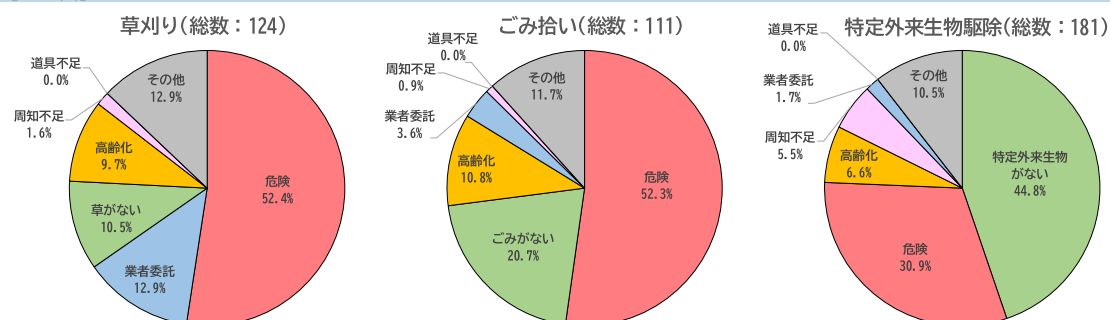
- ア 堤防道路などのごみ拾い、草刈りは概ね実施できている。
- イ 清掃場所が河川に近づくほど、実施率は低下している。
- ウ 特定外来生物駆除の実施率は全体的に低い。これは特定外来生物を判別できていないことが理由と推定する。「特定外来生物がない」という回答を「実施できている」に追加すると、その実施率は「堤防道路など」75.1%、「のり面」63.9%、「河川敷」55%、「河川内」44.9%となる。

(2) 実施できていない理由内訳

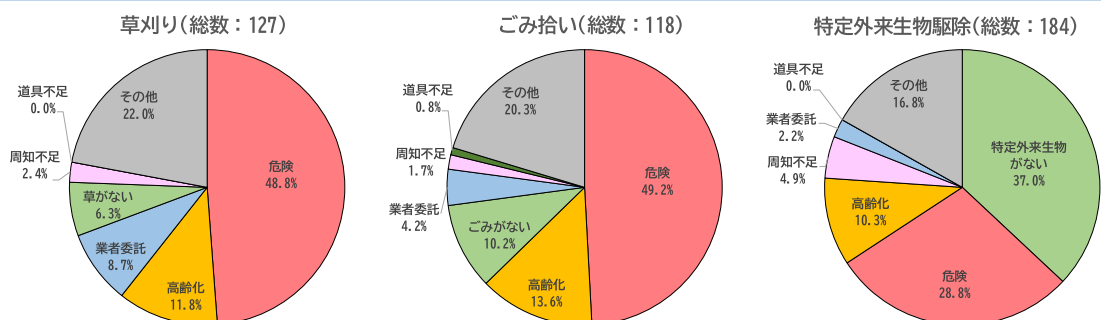
【堤防道路など】



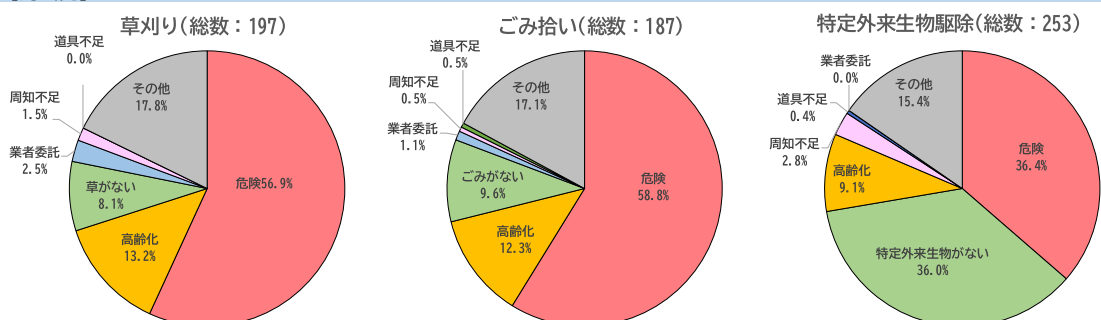
【のり面】



【河川敷】



【河川内】



ア 清掃場所が河川に近づくほど、「危険」が増加している。

イ 堤防道路などでは、「危険」と「高齢化」が同程度であり、他でも「危険」に次いで「高齢化」が多い。

ウ 特定外来生物駆除については、「特定外来生物がない」が最も多いが、女鳥羽川等の特定外来生物が繁茂している河川でもこの回答がみられることから、判別ができていないと推定する。

エ 「その他」の内容は、「行政が実施している」、「町会が行うべきでない」などであった。この回答は川幅の大きな河川で多く、危険で立ち入ることができないことが原因と考えられる。

(3) 河川ごとの実施率

	町会数	回答数	堤防道路など		のり面		河川敷		河川内	
			草刈り	ごみ拾い	草刈り	ごみ拾い	草刈り	ごみ拾い	草刈り	ごみ拾い
奈良井川	46	28	40.7	74.1	21.4	50.0	20.0	32.0	10.7	14.3
薄川	35	24	72.7	77.3	31.6	31.6	15.0	20.0	13.0	13.0
鎖川	23	22	52.4	90.5	38.1	52.4	10.5	21.1	4.8	4.8
梓川	28	26	57.1	66.7	45.0	65.0	40.0	50.0	22.7	50.0
田川	53	43	90.2	85.4	53.7	53.7	40.0	42.5	20.0	22.5
三間沢川	17	17	88.2	41.2	100.0	35.3	93.8	31.3	23.5	11.8
会田川	27	21	72.2	66.7	50.0	45.0	55.0	70.0	30.0	45.0
女鳥羽川	40	29	71.4	78.6	55.2	72.4	66.7	74.1	20.7	24.1
清水溝渠・地藏川	18	11	66.7	88.9	57.1	57.1	66.7	66.7	50.0	50.0
牛伏川	5	5	80.0	80.0	80.0	100.0	60.0	100.0	20.0	20.0
兎沢川	5	5	75.0	75.0	75.0	75.0	100.0	100.0	60.0	40.0
穴田川	13	10	75.0	87.5	42.9	71.4	66.7	66.7	75.0	87.5
大門沢川	21	17	94.1	94.1	56.3	68.8	56.3	68.8	58.8	52.9
長沢川	26	23	89.5	84.2	80.0	80.0	69.2	76.9	75.0	80.0
逢初川	4	3	100.0	100.0	66.7	66.7	100.0	100.0	66.7	66.7
湯川	34	26	95.0	100.0	84.2	84.2	92.9	92.9	65.0	65.0
横田溝渠	14	8	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	85.7	85.7
車屋堰	3	1	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
全体	412	319	75.1	80.0	55.2	59.9	50.8	54.3	33.0	36.4

ア 大きな河川の河川敷、河川内の実施率が著しく低く、特に「奈良井川」、「薄川」、「鎖川」、「梓川」、「田川」の5河川はほとんど実施できていない。その理由は「危険」が59.5%、「その他」が31.1%であった。「その他」の内容は、「行政が実施している・すべき」が最も多く、安全面や規模の問題から町会での実施は困難な状況である。

イ 「長沢川」、「逢初川」、「湯川」、「横田溝渠」、「車屋堰」の5河川は概ね実施できている。これらの河川は規模が比較的小さく、危険度が低いことから実施率が高いと考えられる。

3 課題

- (1) 比較的作業が容易な堤防道路やのり面であっても、高齢化が理由で実施できていない町会もある。

- (2) 規模の大きい一級河川の河川敷や河川内については、危険度が高く、安全上のリスクから現在の清掃体制では十分に対応できていない場所がある。そのため、地元要望にて河川管理者による清掃対応を望む町会も多い。
- (3) 特定外来生物に関する知識が不足していると推測される。

4 アンケート実施後の対応（令和6年度～令和7年度）

- (1) 実施率の低い河川で、全ての項目について実施できていないと回答した町会の担当箇所を現地確認し、状況を把握。
- (2) 清掃参加率の高い町会を複数訪問し、町会で行っている工夫・取り組み状況について聞き取り。
- (3) 若者の参加を促すべく、「高齢化」を理由に挙げた町会の所属する地域づくりセンターと協議。
- (4) 特定外来生物については、既に公開している YouTube やチラシによる周知。また、特定外来生物の繁茂している河川においては、町会長と環境衛生部長を対象に「特定外来生物駆除講座」を開催。